

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	H24年度	H25年度	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数		
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 乳幼児クラブ エンジェルクラブ、ちびっこクラブ、キンダークラブ、なかよしクラブ	各クラブ月に2回程度	目標回数:90回程度 乳幼児の親子が様々な活動に参加できる場を提供し、育児についての情報交換や仲間づくりを進めることにより子育てを支援する。年齢ごとの集団での親子遊び、集団遊びを通じて、楽しむ中で情報を得たり、仲間づくりをしたりすることによって子育てを支援する。	4	11			70	乳幼児	1049	各クラブ参加人数にばらつきはあったものの、アンケートなどによる利用者の満足度は高く、「参加して良かった」という声が多く聞かれた。出迎えと見送りをできるだけ職員2人で行い、参加者一人ひとりに声をかけた。また毎月お誕生日会を開き、手作りのカードを渡すなど、クラブ活動以上に参加者個々に目を向けた取り組みが高い満足度に繋がったと考えている。
		小学生	0									
		中高生	4									
		大人	951									
② 自由参加型事業 きっず広場、幼児おはなしの会 幼児トランポリン 英語で遊ぼう 乳幼児ワンダーランド ぶくぶく金魚 ママはアクティブ	乳幼児ワンダーランド 6/13 他は月1回程度			49	乳幼児	542	・きっず広場と称して季節行事を中心に毎月事業を行った。七夕の笹飾りや節分の糰いわりなど、昔からの習慣を取り入れて日本ならではの季節感を味わってもらうことができた。 ・トランポリンや夏の水遊びでは楽しみながら無理なく運動に親しんでもらえた。					
小学生	20											
中高生	5											
大人	542											
③ 母親クラブの育成と支援 ママ倶楽部	月に1回から2回			20	乳幼児	144	25年度の母親クラブ(ママ倶楽部)は26人の会員数であった。多容荘への訪問、乳幼児親子のための大きなイベント、児童センターの行事の手伝いなどを中心に活動された。中でも、地域の多世代の方と交流を深めるために行った「コサージュ作り」には、講師を買って出るなど、児童センターの要望に積極的に応じてもらえ、効率的な連携を行うことができた。					
小学生	6											
中高生	0											
大人	236											
小計						139		139	乳幼児	1,828	乳幼児	1735
小学生	11	小学生	26									
中高生	2	中高生	9									
大人	1,650	大人	1729									

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	H24年度	H25年度	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数		
児童を対象とした事業	1	① 小学生クラブ 一輪車クラブ 子どもスタッフクラブ リトルママ	一輪車 子スタ 月に2回 程度 リトルママ 年6回	目標回数:100回程度 小学生のクラブを指導し、自主性や創造性を育て、協調性を養うとともに障がいのある児童も共に遊ぶことができる場をつくり相互理解を深める。	5	11			43	乳幼児	11	・一輪車クラブは1年生の参加が非常に多く、4割が1年生の会員であった。これは、児童センターが、春から来館した1年生の親の信頼を得た結果であると思う。 ・子どもスタッフでは、職員は制約を作らず、子どもたちの考えでボランティアをしたことが子ども達の成長に繋がった。
		小学生	531									
		中高生	0									
		大人	27									
		② 自由参加型事業 みんなで遊ぼう おはなしの会 ラッキーをさがせ 旭ヶ丘チャンピオン みんなで作ろう 交通安全指導	随時								15	乳幼児
小学生	505											
中高生	18											
大人	45											
③ 季節事業 クリスマス会 とんでけ！夏バテ 夏休み工作 科学工作、 スイカ割り	とんでけ！夏バテ7/26 夏休み工作7/26 科学工作7/29 クリスマス会12/21 他は随時			乳幼児	14	北栄校区に多く見られる家庭の事情もあり、小学生に対しては無料か安価で行事を行いたいと考えてきた。25年度は、地域やおはなしの会の方々に協力していただきクリスマス会など無料で行うことができた。						
小学生	154											
中高生	13											
大人	37											
小計					324			127	乳幼児	37	※24年度と比べ、事業回数が大幅に減ったのは、カウント方法変更も一因であるが、主は自由参加型事業を淘汰したためである。しかし、内容を充実させたため、事業参加人数に大きな変化はない。	
									小学生	1903		
									中高生	38		
									大人	125		
									大人	109		

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	H24年度	H25年度	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数		
多世代間交流事業	1	① 多世代間交流 ザ★感謝祭 芋の苗植え・芋ほり 七夕飾作り 花もち作り 優ヶ丘餅つき参加 母クと交流コサージュ作り イクじいじばあばの会 やよいまつり	主な行事 ザ★感謝祭 10/12 母ク交流会 1/10 イクじいじ 2/22 やよいまつり 3/28 他は季節に 準ずる	目標回数:12回程度 行事や児童館まつりなど誰でもが参加できる行事を実施し、地域間及び多世代間の交流を深め、子どもが育つ環境づくりを地域ぐるみで取り組む。	4	11				17	乳幼児 123 小学生 178 中高生 50 大人 176	・25年度は24年度から進めてきた事業の立て直しを図り、参加者に多世代間のつながりの必要性や、集う中での温かみなどを感じてもらうことをねらいとした事業を展開した。 ・「ザ★感謝祭」では児童センターで多岐に渡りお手伝いしていただいた方々に対し、感謝状を子どもたちからお渡した。 ・「イクじいじばあばの会」に於いては、地域で音楽を通して活動していらっしゃるお年寄りの方々に声をかけ、子ども達とっしょに演奏会を行った。お年寄りの方々から頂いた「嬉しかった」の言葉で、利用者の満足度を伺い知ることができた。
		小計				18		乳幼児 281 小学生 547 中高生 58 大人 576	17	乳幼児 123 小学生 178 中高生 50 大人 176		
一般来館者（乳幼児から大人）を対象	1	① 一般対象 かんたん工作 母の日、父の日のプレゼント作り 氷とかし大会 敬老の日のプレゼント作り おいもフェスタ お雛様作り	母の日 父の日 敬老の日 は前週4日程度 お芋フェスタ 11/9 他は随時	目標回数:50回程度 乳幼児から大人まで参加者を限定しない、日頃、誰でもが参加できる遊びや行事を実施し、初めての人の来館・参加を促すとともに、参加者相互の交流を深める。	4	11				74	乳幼児 47 小学生 389 中高生 2 大人 41	・24年度に引き続き、母、父、敬老の日のプレゼント作りは無料で行った。誰でも気軽に参加できるので大変好評であった。特に敬老の日のプレゼントは用意した材料がすぐなくなり、お断りするほどだった。大したものではなくても、心を込めた手作りのプレゼントをあげるという行為は、家族への愛情の再確認であると思うので、多くの子どもたちに参加してもらいたい。今後も出来る限り無料で行いたいと考えている。 ・簡単工作は参加人数は多いが、内容がマンネリ化してきた部分もあり、もう少し工夫したい。
		小計				101		乳幼児 133 小学生 442 中高生 1 大人 148	74	乳幼児 47 小学生 389 中高生 2 大人 41	※24年度と比べ、事業回数が大幅に減ったのは、カウント方法が変更になったため	

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価				
				ねらい	H24年度	H25年度	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数						
子どもボランティア事業の実施	1	① 子どもボランティア 草取り隊 館庭清掃 館内清掃活動 乳幼児ふれあい 窓ふき 各祭りの準備 他	随時	目標回数:12回程度 児童館内でボランティア活動の場を設定し、地域の子どもたちが、それぞれの地域で活動できるよう人材育成を進める。	4	11			44	乳幼児	11	・25年度は、今まで以上に「やりがいを感じてもらおうボランティア」を目指し、手始めに子どもたちを大いに褒めた。例えば、窓ふきはガラス1枚に集中させ、となりの窓ガラスと比べたり、雑巾の汚れに注目させ、汚れた雑巾の子を大きめに褒めた。子どもたちが綺麗になった窓を覗き込む様子に達成感を感じ取ることができた。 ・幼児と関わりたい女子児童を対象に「乳幼児ふれあい」を行った。幼児と来館したお父さんからは、「またボランティアをお願いしたい」という声までも上がった。動機は何でも、些細なお手伝いの中から少しずつ社会性を身に付けていってほしいと考えている。				
		小学生		188						中学生	3		大人	7		
小計						64	乳幼児	9	44	乳幼児	11		※24年度と比べ、事業回数が大幅に減ったのは、カウント方法変更になったため			
							小学生	271		小学生	188					
							中学生	45		中学生	3					
							大人	14		大人	7					
中高生事業	1	① 中高生の居場所づくり バドミントン大会	5/1 7/20 12/13	目標回数:6回程度 中高生等が乳幼児と接する機会を持てるようにするなど、次世代の子育て支援につなげていくため、地域に応じた事業の実施及び中高生等の居場所の確保に取り組む。	3	12			3	乳幼児	0	25年度は、中学生の来館が24年度の倍近くになったが、以前のような問題もなく事業に繋げることができた。現在の自分の生活や、進路について話してくれる生徒も多く、褒めたり、喜んであげることにより、24年度以上に信頼関係を築くことができたと思う。 小学生といっしょに遊んだり、スポーツの技を教えたりして良好な関係を持ってくれた。自ら「旭ヶ丘チャンピオン」に挑戦し「これを目指してがんばれと小学生に言ってほしい」と言った記録は現在も掲示してある。				
		小学生	0	中学生						23	大人		0			
		② ボランティアの育成 北陵中お掃除ボランティア館内清掃								お掃除ボランティア 12/27 他は随時	4		乳幼児	0	北陵中の執行部の企画として、毎年大勢の中学生が大掃除のため来館し、隅々まできれいにしてくれる。学校とも連携が取れている。	
		③ 次世代育成 乳幼児ふれあい 小学生ふれあい								随時			小学生	7		おもに夏休み中であつたが、乳幼児とのふれあい活動を自主的に行ってくれた。それ以外にも、障がいを持った小学生とドッチボールやバドミントンを通して、自分たちも楽しそうにふれあってくれる姿は大変印象的であつた。
					中学生	15										
					大人	5										
小計						3	乳幼児	0	17	乳幼児	16					
							小学生	0		小学生	47					
							中学生	36		中学生	81					
							大人	10		大人	16					

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
				ねらい	H24年度	H25年度	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数		
子育て相談事業と子育てネットワークの推進	1	① 相談 子育てに関する相談の随時受け 小中学生の相談の随時受け 乳幼児クラブでの専門員による年齢に応じた相談日の設定 メールや電話による相談の受け 専門員による個別相談の窓口	随時	目標回数：10回程度 気軽に相談できる場や関係機関への相談窓口として相談を受ける。インターネットによる相談受付や専門員による相談の場を設定する。母子保健推進員・主任児童委員・保健センター・子育て支援センターとの連携を図る。	4	10				29	乳幼児 38 小学生 4 中高生 0 大人 47	・乳幼児は、発育について相談される方が一番多く、成長面の悩みを抱えた母親が多かった。相談者の気持ちに寄り添い、一人で悩みを抱え込むことがないよう支援している。また、相談者のお子さんの良い点を挙げながら同時に母親自身を褒め、子育てに自身を持ってもらえるように励ました。 ・出張子ども相談員が月1回来館し、気になる小学生たちと話を下さった。
		小計				13	乳幼児 2 小学生 7 中高生 2 大人 265	29	乳幼児 38 小学生 4 中高生 0 大人 47	※大人の人数が大幅に減っているのは、カウントの方法の変更により、館内で行われる会議を事業に含めなくなったためである。		
地域の特性と活かした事業	2	① 移動児童館、運転適性検査 公民館まつり参加、避難訓練 楽しみな祭、施設訪問 35区どんどやき ガサガサ探検隊	8 主な行事 移動児童館 7/13、8/3 11/30、1/7 公民館まつり 10/27 避難訓練 10/5	目標回数：12回程度 児童館児童センターが所在している地域の特性を活かした事業を実施すること。						12	乳幼児 172 小学生 471 中高生 47 大人 504	・公民館との交流を持ち、地域の情報をもっと共有できないかと考えてきたが、25年度は公民館まつりに参加させていただくことが出来た。おまつりでは、児童センターをあまりご存知ない年齢層の方々とお話ができて、多世代間交流の「イクじいばあばの会」での音楽会のきっかけとなった。 ・移動児童館として35区などに出向き、活動をアピールすることができた。しかしながら若葉台の参加人数が少ないことと、50区で実施していないことが、26年度に向けての課題である。
		② 児童館相合の交流 体力チャレンジ番付、一輪車クラブ交流会、子スタまつり、	体力チャレンジ 月3、4回 一輪車クラブ交流会 11/16 子スタ祭り 1/18	4	12				23	乳幼児 128 小学生 360 中高生 11 大人 192	・子ども達は、毎月の体力チャレンジをととても楽しみにしている。励ましの声かけなどで、なるべく大勢が参加できるよう配慮した。 ・一輪車クラブ交流会も子供スタッフ祭りも、自分たちの成果を見せ合う良い機会となっている。	
		③ イクメン支援事業 流しそうめん	7/6					1	乳幼児 13 小学生 4 中高生 0 大人 9	イクメン支援として流しそうめんを行った。父親がひとりで幼児を連れて参加して下さった方が数組あったので、26年度も内容を検討してイクメン支援を行う予定である。		
	小計				9	乳幼児 276 小学生 542 中高生 43 大人 488	36	乳幼児 313 小学生 835 中高生 58 大人 705				

項目	区分	具体的内容	実施日	目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
				ねらい	H24年度	H25年度	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数			
											乳幼児		参加人数
自主事業 (あれば記入してください)	2	① 自主事業 母子センター共催事業 共同募金・赤い羽根配分金事業 いっしょに元気広場(障がい児遊びの広場) 更生保護女性会活動(しおり作り)	母子センター共催事業 5/25、6/2、23 共同募金・赤い羽根配分金事業 5/25 いっしょに元気広場 8/2,3/8 更生保護女性会活動8/7	/	4	11			8	乳幼児	66	この地域はひとり親家庭が多いことを踏まえ、多治見市社会福祉協議会の母子センター主催で、ひとり親家庭を支援していくための行事を行った。今回親子揃っての参加はなかったが、また母子センターの協力を得て支援していきたい。「いっしょに元気広場(障がい児遊びの広場)」は例年よりも多く健常児の参加もあった。子ども達が、支援を必要とする方々に対して自分が出来る事を見つける良い機会にもなった。	
		小学生	85										
中高生	12												
大人	119												
		小計					6	乳幼児	243	8	乳幼児	66	
								小学生	411		小学生	85	
								中高生	8		中高生	12	
								大人	309		大人	119	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

※「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・24年度 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上

・25年度 期待以上:15~12点例年通り:11~9点、例年よりやや劣る:8~7点、例年より劣る:6~3点例年よりかなり劣る 2~0点